

平成 27 年度 第 1 回坂井市地域公共交通会議

開催日時：平成 27 年 6 月 15 日（月）午後 2 時から午後 3 時 00 分

場 所：坂井市役所 多目的研修センター3F 大ホール

出席者：浅沼会長、坂野委員、渡辺委員、森委員、阿古江委員、竹内委員、大原委員、岡田委員（代理）、猪嶋委員（代理）、加藤委員、村中委員、山田委員、小林憲委員、野尻委員、小林美委員、大久保委員、佐々木委員、安宅委員、矢崎委員、矢部委員、高嶋委員、萬道委員

事務局：黒川部長、齊藤課長、東山課長補佐、奈須田主査

1. 開会

委員出席状況・会議成立を報告。

委員交代を報告。

2. 会長あいさつ

浅沼会長あいさつ。

3. 報告事項

(1) コミュニティバスの運行実績について

事務局からコミュニティバス運行実績を報告。

【質疑】

(森委員)

丸岡町においては老人会活動が霞の郷にて多く行われています。

霞の郷への移動時間が長く、帰りの時間帯にも便がないため不便な状況となっており、利便性を高めるよう見直しをお願いします。

(事務局)

丸岡の接続ルートについては、霞の郷の利用が多く老人会等の研修会も行われているため、昨年もお意見いただき、今年 2 月には市高齢福祉課と協議させていただいております。

引き続き高齢福祉課と連携・協議しながらルートの見直し等検討してまいります。

(浅沼会長)

見直しは適宜相談しながら行っていきたい。

(森委員)

もうひとつ、運行実績の説明によると、坂井町においては坂井高校開校により利用状況が変わっていると思います。

丸岡で丸岡高校の生徒数が減少しているというのは、他所から丸岡高校へ通おうとすると非常に交通の便が悪いというのがあります。

行政としても精一杯配慮していただきたいと思います。

(事務局)

丸岡高校の生徒数については高校の定員数もありますが、現在丸岡高校生も毎日10～20名程度の利用をいただいていますので、引き続きコミュニティバスを利用し通学していただけるのではないかと考えます。

(森委員)

精一杯配慮をお願いします。

(浅沼会長)

またいろいろと会議で協議していきたいと思います。

(大原委員)

三国坂井ルート右回り・左回り、丸岡春江ルート右回りの第1便乗客数を教えてください。

(事務局)

直近6月の調査ですが、三国坂井ルート右回りは乗車56名(うち高校生54名)、左回りは乗車35名(うち高校生32名)、丸岡春江ルート右回りは乗車18名(うち高校生16名)、左回りは乗車22名(うち高校生22名)の利用となっています。

(大原委員)

三国坂井ルート右回り第1便56名というのは1日でしょうか。

(事務局)

第1便1日の利用者数です。

(大原委員)

何人乗りでしょうか。

(事務局)

定員54名ですが、乗り降りがありますので、最大で39名乗車している区間がありました。

(浅沼会長)

混んでいるという生徒さんからの声はあるのでしょうか。

(大原委員)

4月最初は鮎詰め状態だったと聞いています。

(2) 路線バスの運行再編について

①川東三国線の再編、②川西三国線の再編について事務局及び京福バス矢部委員から経緯・概要を説明。

【質疑】

(猪嶋委員 代理)

川西三国線の方ですが、鶉三国線は月曜日から金曜日 5 往復、休日予約運行 3 往復とありますが、土曜日の取り扱いを教えてください。

(矢部委員)

月曜日から土曜日 5 往復の誤りです。ご訂正ください。

4. 協議事項

(1) 路線バス運行再編について

金津東尋坊線の再編について京福バス矢部委員から概要を説明。

【要旨】

- ・雄島、東尋坊等観光地を抱えた路線であり、生活路線バスの機能を維持しながら観光の交流人口を増やしていきたい。
- ・折り返し系統と循環系統が混在しており複雑なため、折り返し系統に一本化・単純化する。
- ・観光利用を促進するため雄島外 2 停留所を新設し、平日・土曜休日の運行本数を増やす。
- ・廃止区間については、同地区内に他の停留所がある、他の系統の路線バスが通っているなど影響は軽微であり、地元区にも説明し了解を得ている。
- ・運賃は従来どおり変更なし。
- ・ダイヤについて、JR の新幹線・特急等の発着に合わせて手直しを行う。

【協議・質疑】

(猪嶋委員 代理)

再編案では平日 13.5 往復、土曜休日 15.5 往復となっているのに対し、現状の循環系統は先回り 2 回、7 回となっています。

比較のために現状の回を往復に直すと何便が何往復になるのか教えてください。

(矢部委員)

循環系統ですので表現しづらいですが、1 回が 1 往復と読み換えていただければわかり易いかと思います。

(浅沼会長)

1 回は 1 周という意味ですか。

(矢部委員)

1 周です。

(浅沼会長)

平日 13.5 往復というのはだいたい何分間隔になりますか。

(矢部委員)

平日はほぼ 1 時間に 1 本になります。休日は 1 時間に 2 本の 30 分間隔になります。

平日と休日では運行する時間帯が変わってきますので、平日は通学利用もあり朝早くから夕方 19 時頃まで運行し、休日は 9 時頃から 16 時頃まで間隔を縮めて運行します。

(浅沼会長)

観光客のことを考えると、30 分に 1 本くらいほしいなというのはあります。

(浅沼会長)

金津東尋坊線について、川東三国線・川西三国線のような年間利用者数がどのくらいかわかりますか。

(矢部委員)

直近で申し上げますと、金津東尋坊線全線で約 50 万人です。

(浅沼会長)

かなり利用されているということですね。

(浅沼会長)

他にご質問がなければ協議事項ですので採決に移りたいと思います。

金津東尋坊線の再編について、異議がなければ承認をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(浅沼会長)

ありがとうございます。異議がないということで承認されたということにいたします。

それでは、報告事項と協議事項の再編について、県の生活バス路線確保対策協議会に諮らせていただきたいと思います。

5. その他

JR 福井駅西口バスターミナル整備にともなう路線バス再編予定、春江病院移設に路線バス・コミュニティバスの再編予定、軽微な変更にかかる承認方法について事務局から説明。

【質疑】

(浅沼会長)

西口バスターミナル整備のことですが、坂井市 21 路線というのはこの会議で検討しないといけない事項になりますか。

(矢部委員)

21 路線全てではなく、一部になるかと思います。

基本的にはそれほど大きく変わるわけではなく、ダイヤ調整等になります。その中でも一部の路線については変更点が大きいということになれば、この会議に諮らせていただくこともあるかもしれないということです。

(大原委員)

保護者からも是非坂井市の方へということで要望があります。

三国坂井ルートですけれども、左右両方とも三国発、三国着ということで、どちらかひとつ坂井発、坂井着という形でバスを運行してもらいたいという保護者からの要望があります。ご検討いただければと思います。

(事務局)

要望ということで伺い、詳細については今後協議させていただきます。

(森委員)

要望ですが、京福バスにもお願いしたいのは、福井駅のバス停整備にともなう再編について、坂井市は通過するだけの J R なので、丸岡城と永平寺や東尋坊を結ぶ観光ルートなども考えてほしい。

坂井平野が一丸となって活用するためには、J R と京福は観光も気を使って考えていただきたい。

(浅沼会長)

その辺りは国も重視していることで、商業とか観光とかいろいろなところと繋げていくという話は市も重視しているかと思いますが、今後検討していければと思います。

6. 閉会